

雇用分野における 男女共同参画について

令和元年度 第5回岩見沢市男女共同参画実践プラン推進委員会
令和2年2月18日(火)18:00～

1 雇用分野に関連する主な法律について

- 1985年 男女雇用機会均等法
- 1991年 育児休業法（1995年 育児・介護休業法）
- 1999年 男女共同参画社会基本法
- 2015年 女性活躍推進法

1. 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律（男女雇用機会均等法）の概要

- 1 性別を理由とする差別の禁止
 - 雇用管理の各ステージにおける性別を理由とする差別の禁止
 - 間接差別の禁止
 - 女性に対するポジティブ・アクション(※)は法違反とならない
 - ※男女労働者間に事実上生じている格差を解消するための企業の自主的かつ積極的な取組
- 2 妊娠・出産・産休取得等を理由とする不利益取扱いの禁止等
- 3 セクシュアルハラスメント・妊娠、出産等に関するハラスメント対策
- 4 母性健康管理措置
- 5 ポジティブ・アクションの効果的推進方策
- 6 労働者と事業主との間に紛争が生じた場合の救済措置
- 7 法施行のために必要がある場合の指導等

1 雇用分野に関連する主な法律について

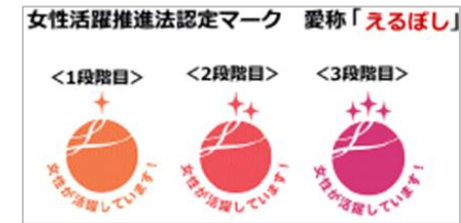
2. 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）の概要（民間事業主関係部分）

1 基本方針等の策定（国：義務、地方公共団体：努力義務）

第3次プランに盛り込む

2 事業主行動計画等

- ①自社の女性の活躍に関する状況把握・課題分析
- ②①を踏まえた行動計画の策定・届出・公表
- ③女性の活躍に関する情報公表
- ④認定制度（えるぼし）
- ⑤履行確保措置



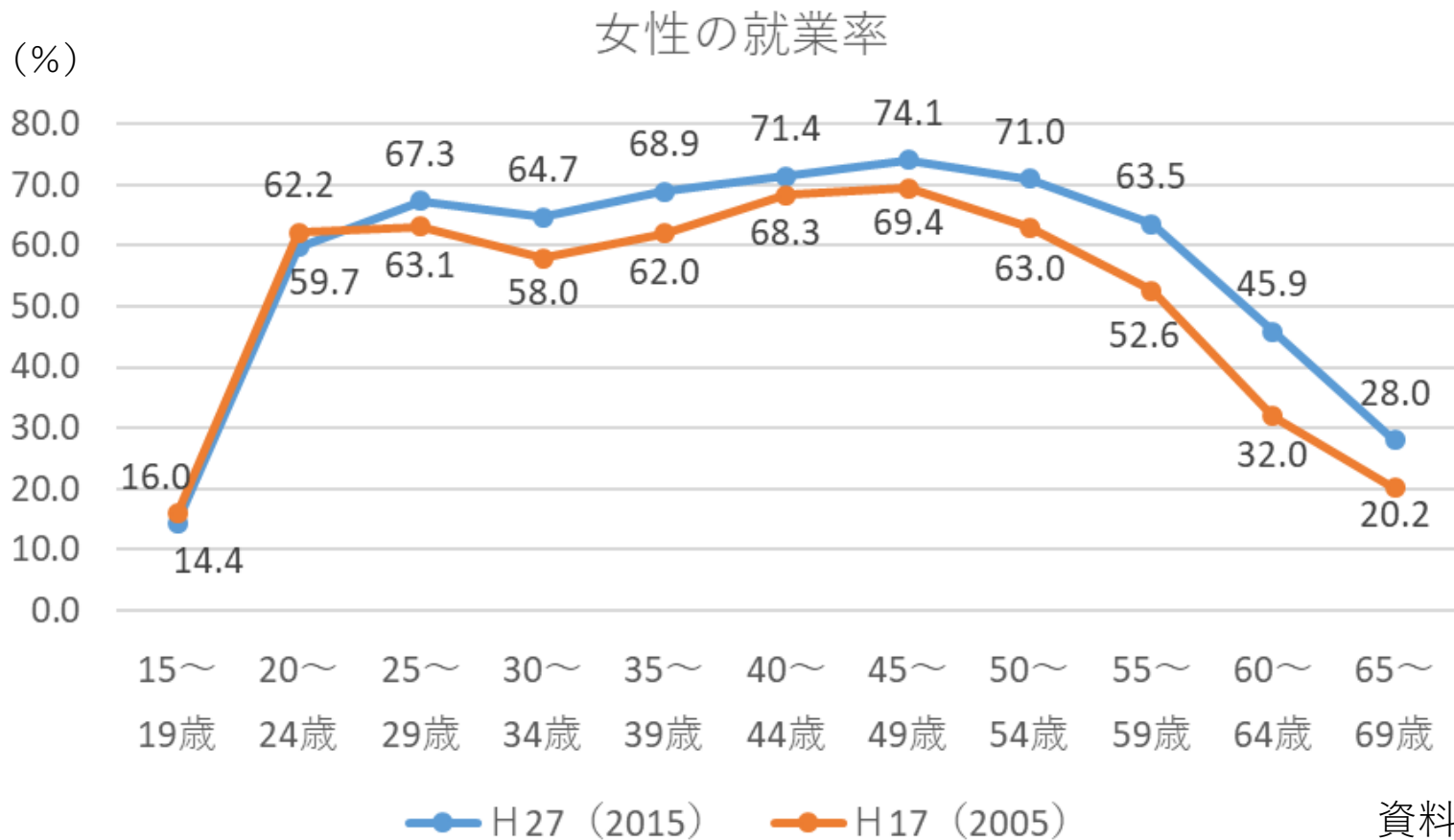
- ※①～③は大企業（301人以上）義務／中小企業（300人以下）努力義務
⇒ R 1.6.5の改正法公布により101人以上の企業は義務に（R 4.4.1施行）

3 その他（施行期日等）

- 一般事業主行動計画策定のメリット①公共調達における加点評価②日本政策金融公庫の融資制度の利用③目標達成の場合には助成金
- 一般事業主行動計画策定公表企業（北海道 721社／岩見沢市 6社） R1.12現在
- えるぼし認定企業（北海道 14社）

2 岩見沢市の現状について

1. 岩見沢市における女性の就業率



▶平成17年と比較すると平成27年は25歳以上の就業率が上がり、M字型カーブが緩やかになってきている。

2 岩見沢市の現状について

2. 雇用形態別従業員数（単位：人、％） ※5人未満の事業所含む

| | 正規従業員 | パート タイマー | 臨時雇用者 | 季節労働者 | 派遣労働者 | 非正規従業員 | 合計 |
|----|------------------|------------------|------------------|---------------|---------------|------------------|--------------------|
| 男性 | 5,540 (72.4%) | 666 (8.7%) | 879 (11.5%) | 431 (5.6%) | 132 (1.7%) | 2,108 (27.6%) | 7,648 (100.0%) |
| 女性 | 3,015 (43.4%) | 2,965 (42.7%) | 818 (11.8%) | 79 (1.1%) | 74 (1.1%) | 3,936 (56.6%) | 6,951 (100.0%) |
| 計 | 8,555 (58.6%) | 3,631 (24.9%) | 1,697 (11.6%) | 510 (3.5%) | 206 (1.4%) | 6,044 (41.4%) | 14,599 (100.0%) |

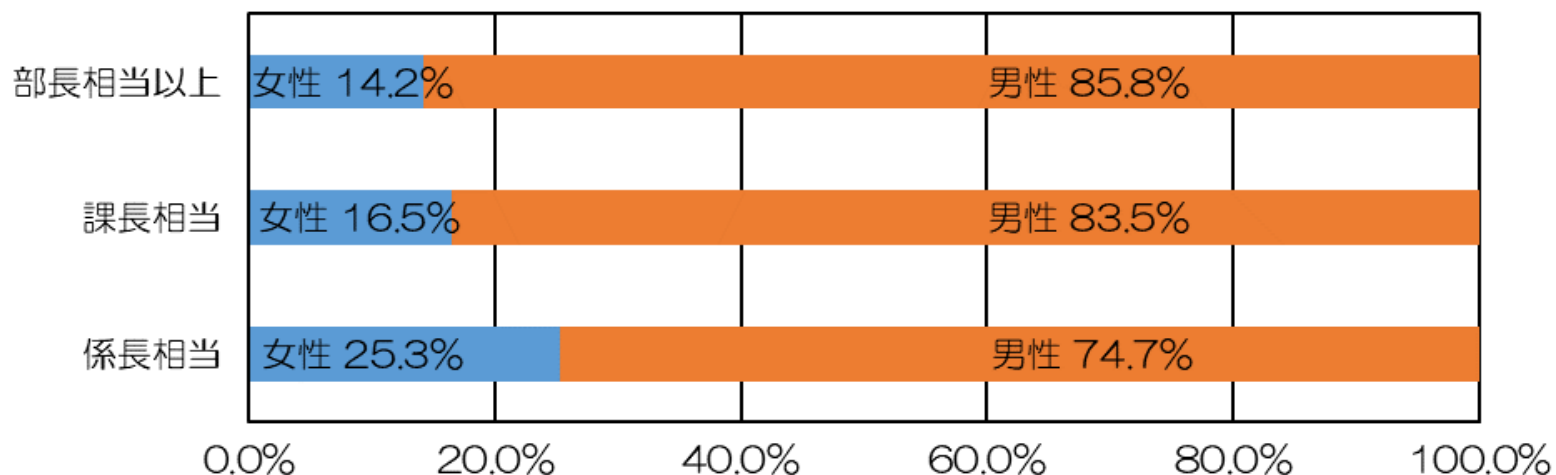
資料：平成30年度岩見沢市労働実態調査（商工労政課）

- ▶ 男性は正規従業員が72.4%を占めているのに対し、女性は非正規従業員が56.6%を占め、その中でもパートタイマーが多い。
- ▶ 正規従業員に占める男女の割合は、男性64.8%、女性35.2%。

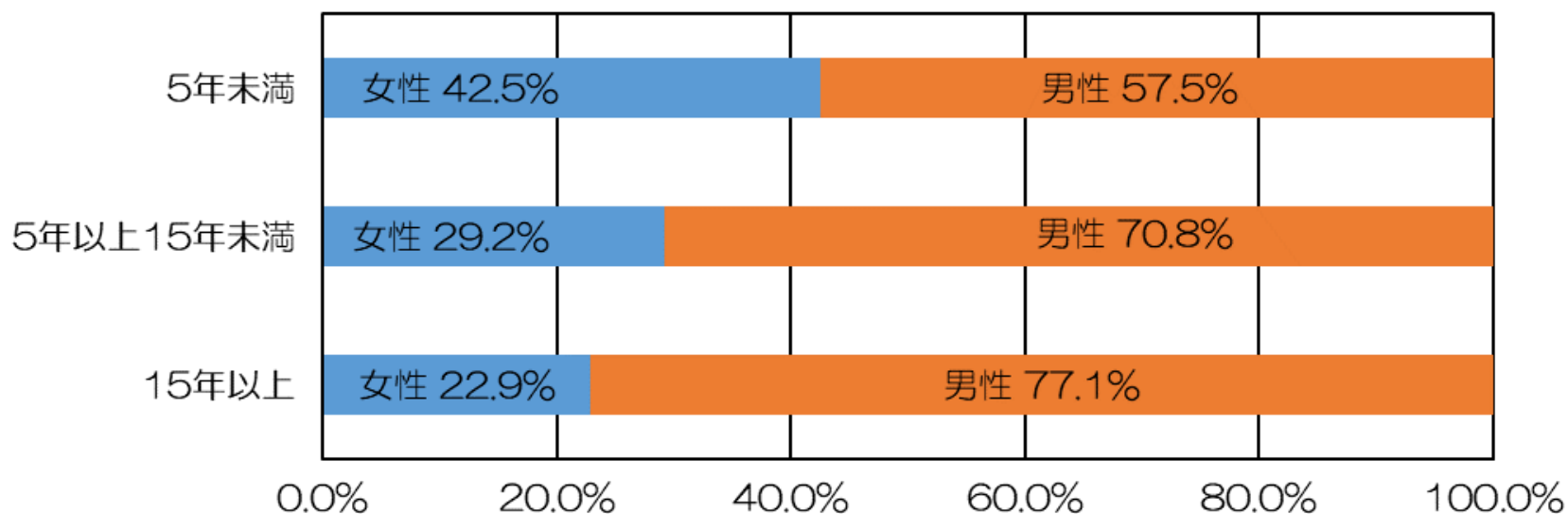
2 岩見沢市の現状について

3. 役職者数【事業所 問2(2)】

資料：岩見沢市男女共同参画に関するアンケート調査



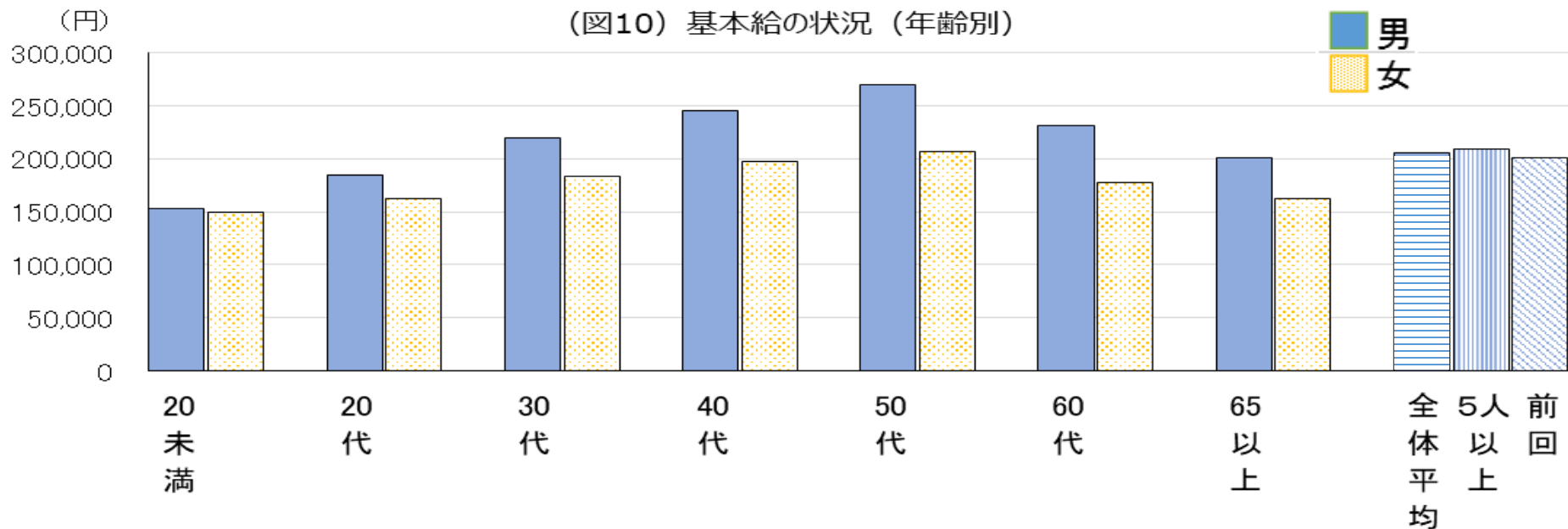
4. 正規従業員の勤続年数【事業所 問2(3)】



➤ 5年未満では大きな差はないが、勤続年数が長くなると女性の比率が下がる

2 岩見沢市の現状について

5. 給与の状況



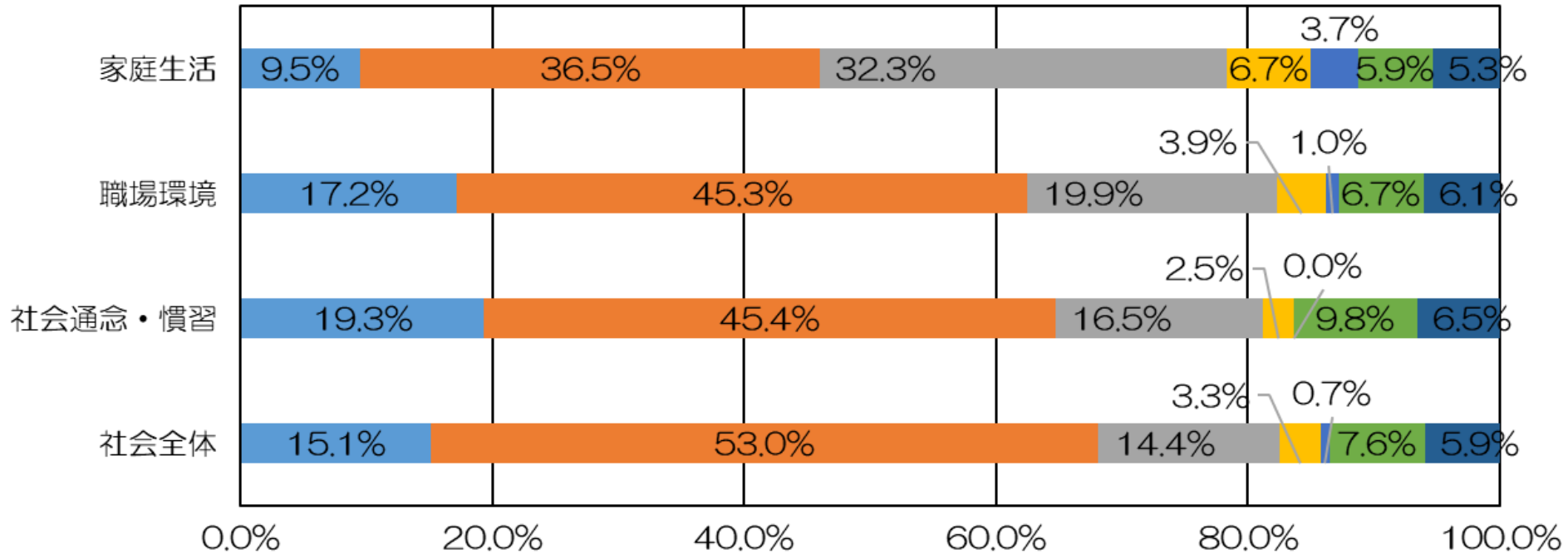
資料：平成30年度岩見沢市労働実態調査（商工労政課）

▶給与の状況は、どの年代でも男性の方が高い。

2 岩見沢市の現状について

6. 男女平等に関する意識について【市民問7】

■男性が優遇 ■どちらかと言えば男性が優遇 ■平等 ■どちらかと言えば女性が優遇 ■女性が優遇 ■わからない ■未回答

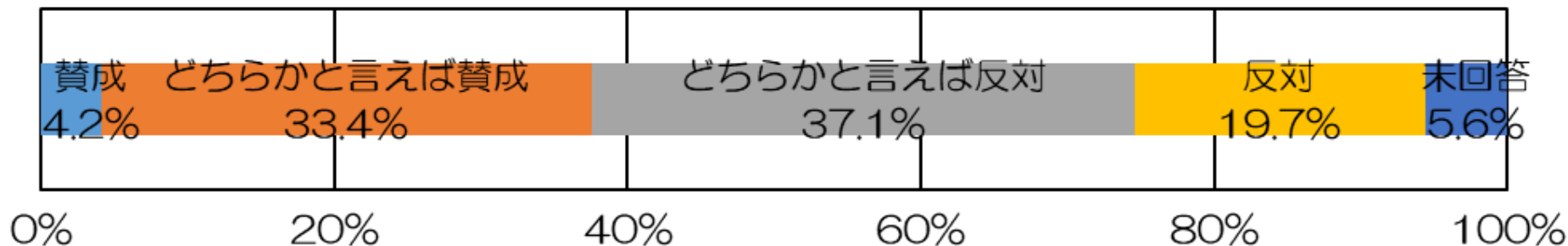


資料：岩見沢市男女共同参画に関するアンケート調査

- 家庭生活は男性優遇が46%、男女平等が32.3%であるが、職場環境、社会通念・慣習、社会全体では男性優遇が6割を超える。

2 岩見沢市の現状について

7. 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について【市民問8】

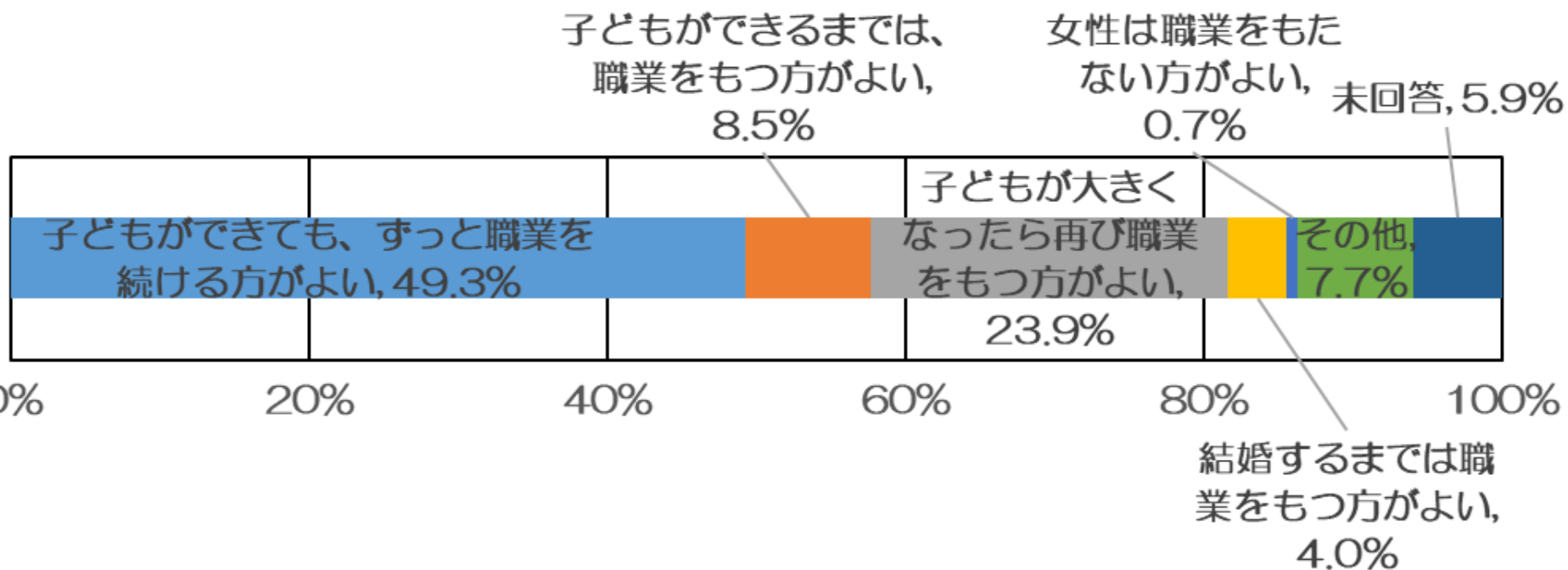


資料：岩見沢市男女共同参画に関するアンケート調査

- 「反対」「どちらかと言えば反対」という意見が多く併せて**56.8%**、「賛成」、「どちらかと言えば賛成」という意見も**37.6%**ある。

2 岩見沢市の現状について

8. 女性が職業を持つことについてどう思いますか。【市民問10】

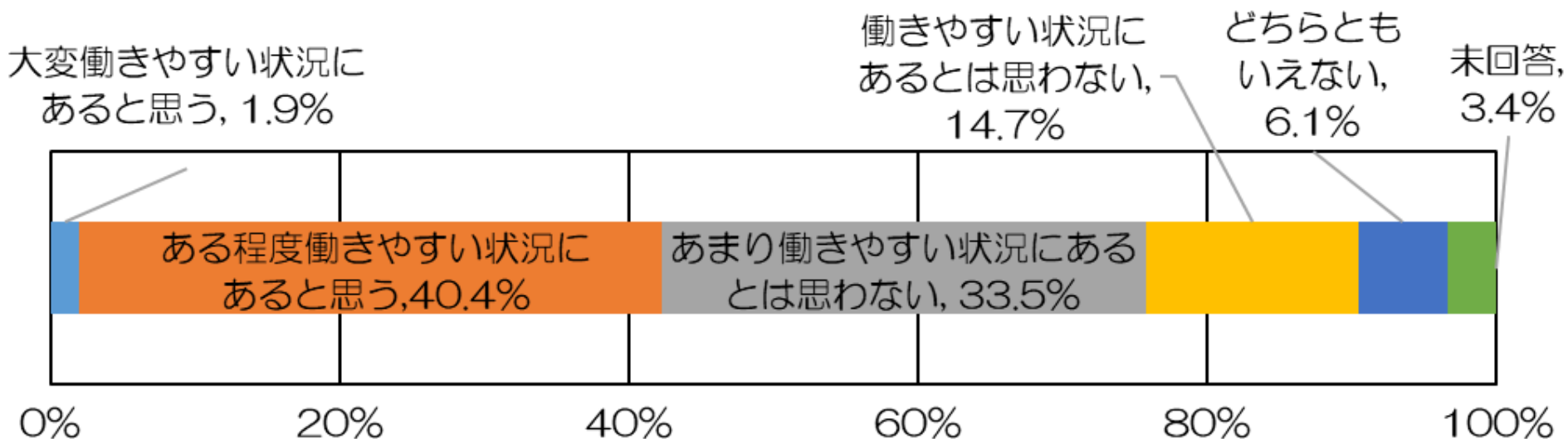


資料：岩見沢市男女共同参画に関するアンケート調査

➤ 「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」と思っている人はおよそ半数。

2 岩見沢市の現状について

9. 現在の社会は女性が働きやすい環境にあると思いますか。【市民問11】

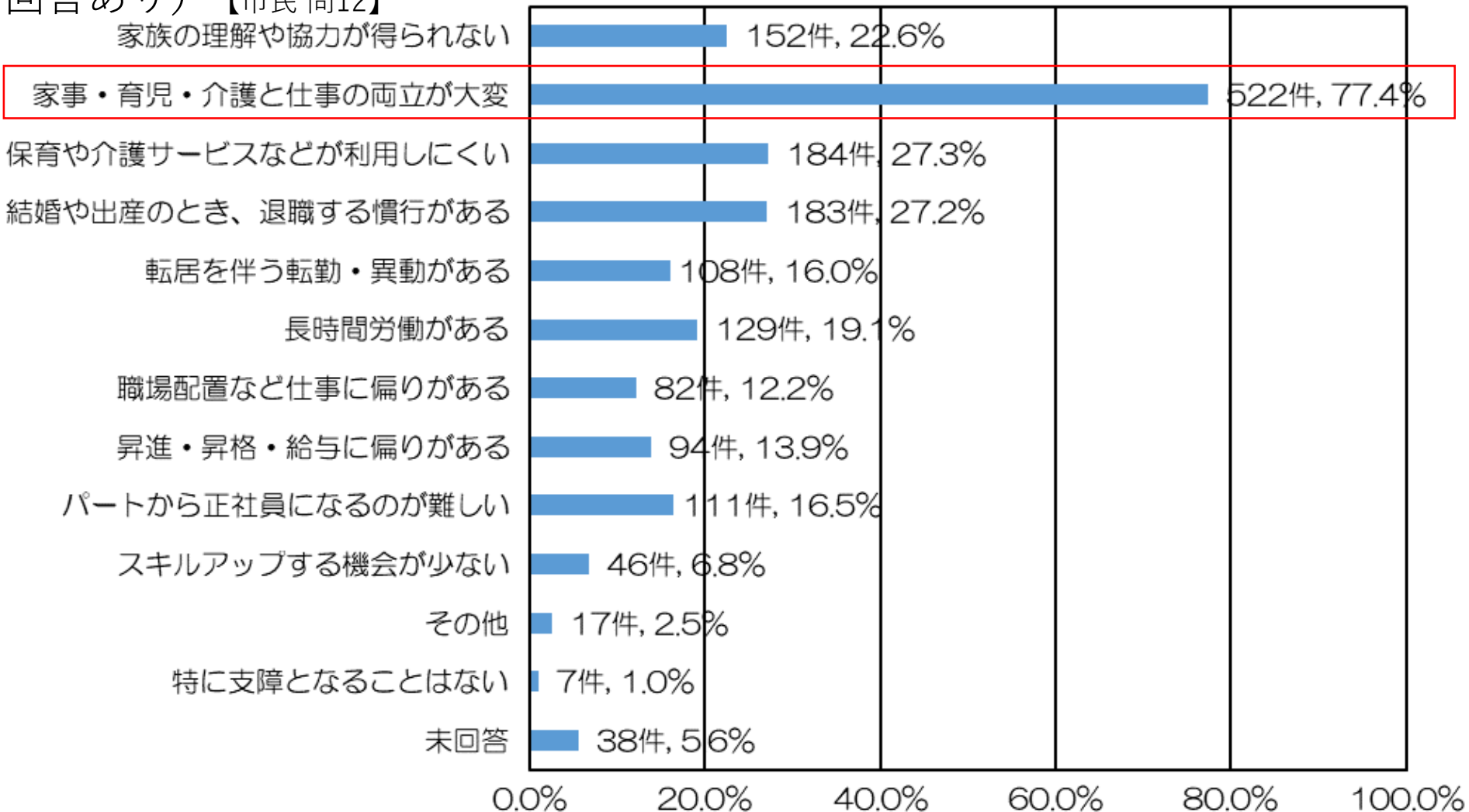


資料：岩見沢市男女共同参画に関するアンケート調査

- 女性が職業を持つことについての理解は進んでいるが、「あまり働きやすい状況にあるとは思わない」「働きやすい状況にあるとは思わない」と答えた人はあわせて**48.2%**で、「大變働きやすい状況にあると思う」「ある程度働きやすい状況にあると思う」と答えた人**42.3%**を上回っている。

2 岩見沢市の現状について

10. 女性が働き続ける上で支障となることはどのようなことですか。（複数回答あり）【市民問12】

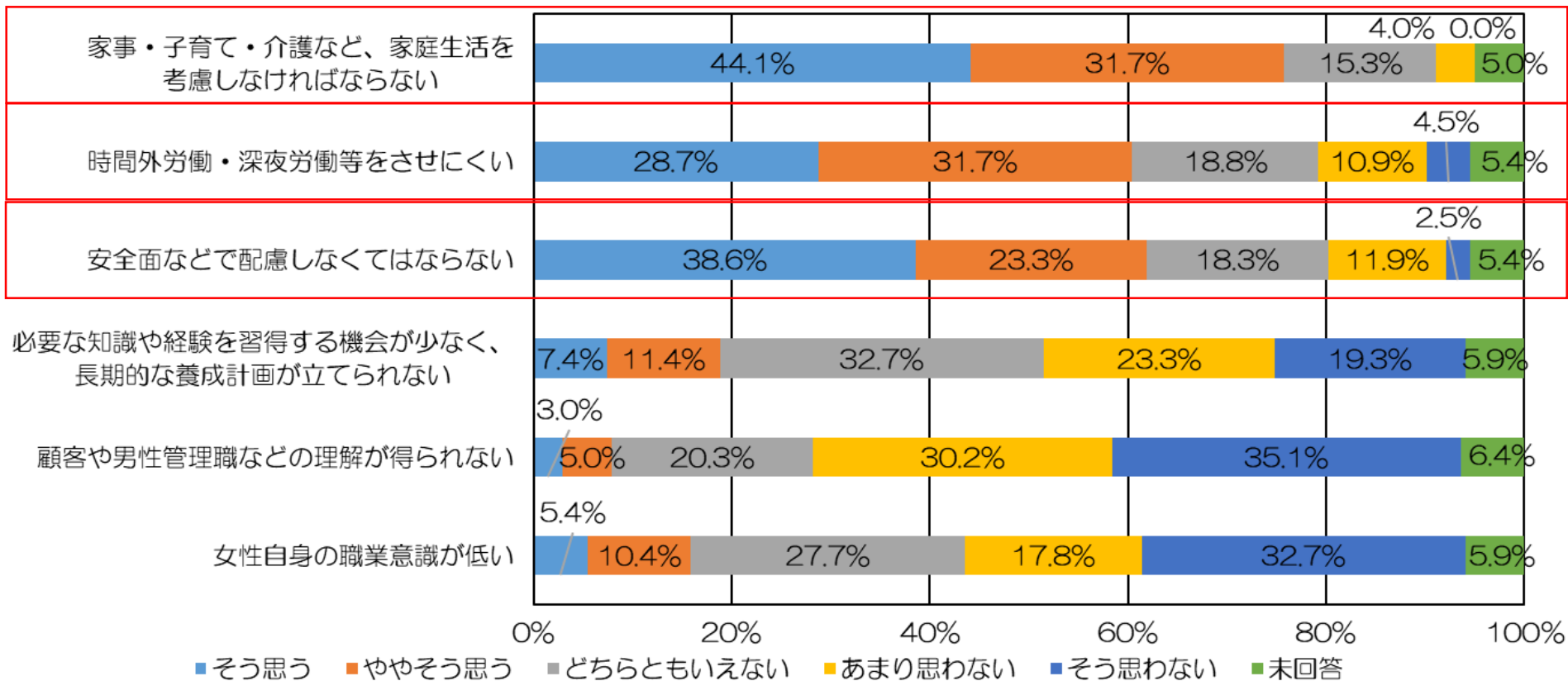


資料：岩見沢市男女共同参画に関するアンケート調査

➤ 「家事・育児・介護と仕事の両立が大変」が最も多い。

2 岩見沢市の現状について

1 1. 女性が正規従業員として、男性の正規従業員と同じ職務を遂行する上での課題や障害についてどのように考えますか。(各項目で○は1つ)【事業所問6】



資料：岩見沢市男女共同参画に関するアンケート調査

➤ 「家事・子育て・介護など、家庭生活を考慮しなければならない」、「時間外労働・深夜労働等をさせにくい」や「安全面などで配慮しなくてはならない」については、いずれも「そう思う」、「ややそう思う」を合わせて6割を超えている。

2 岩見沢市の現状について

1 2. 女性が正規従業員として能力を発揮し、働き続けられる職場づくりのために、どのような取組みをしていますか。（各項目で○は1つ）【事業所問7】

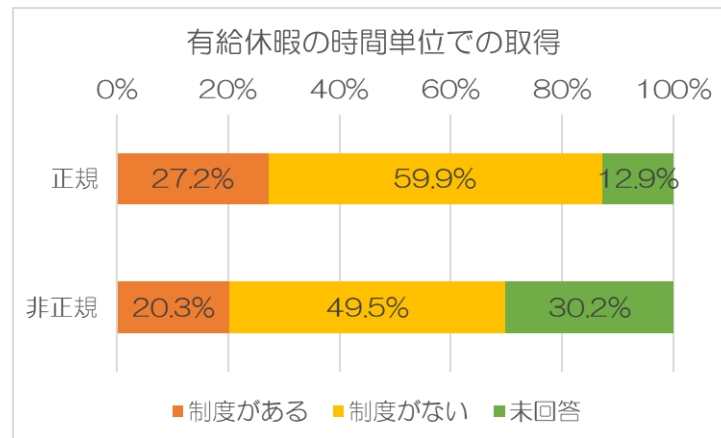
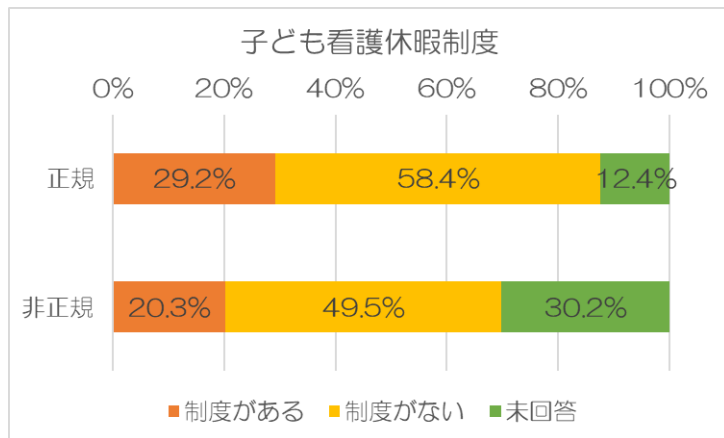
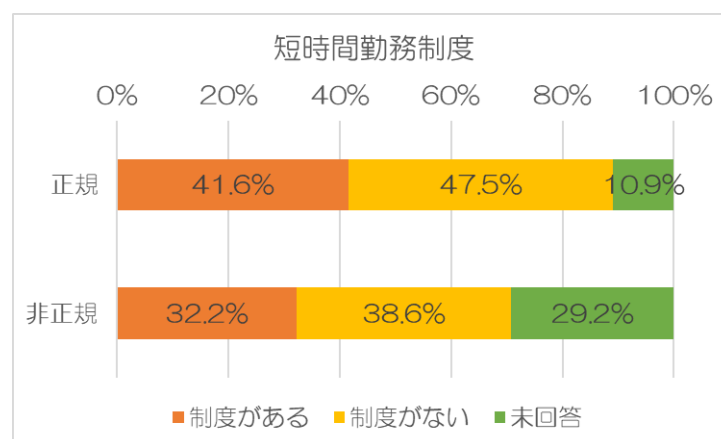
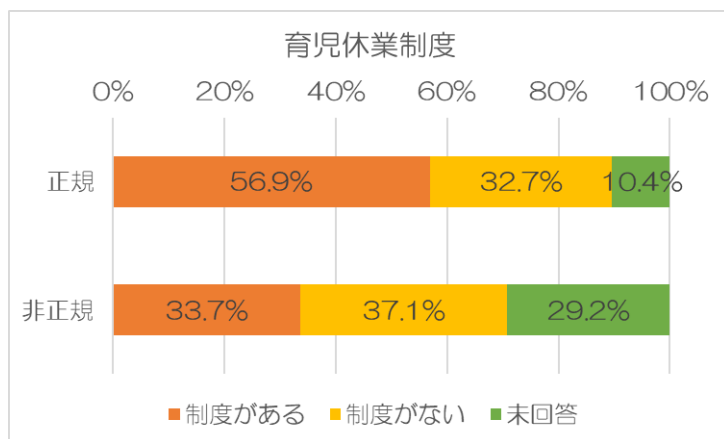


2 岩見沢市の現状について

1 3. 育児に関する支援制度【事業所 問10(1)】

※「制度がある」と回答した割合の高い制度上位4つについて示した。

※「導入予定」「検討中」「導入の予定はない」を合わせて「制度がない」として示した。



資料：岩見沢市男女共同参画に関するアンケート調査

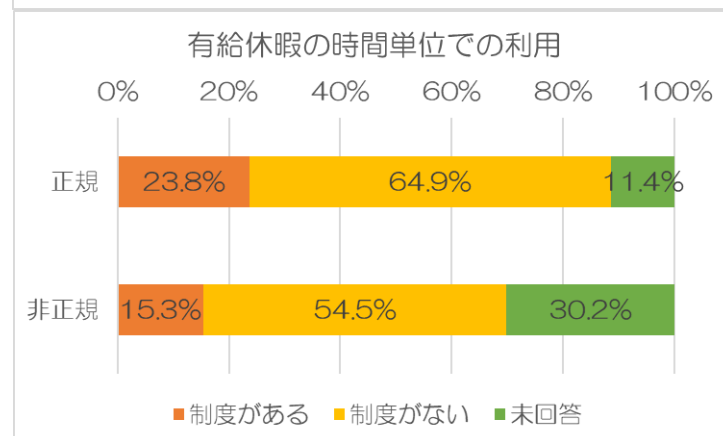
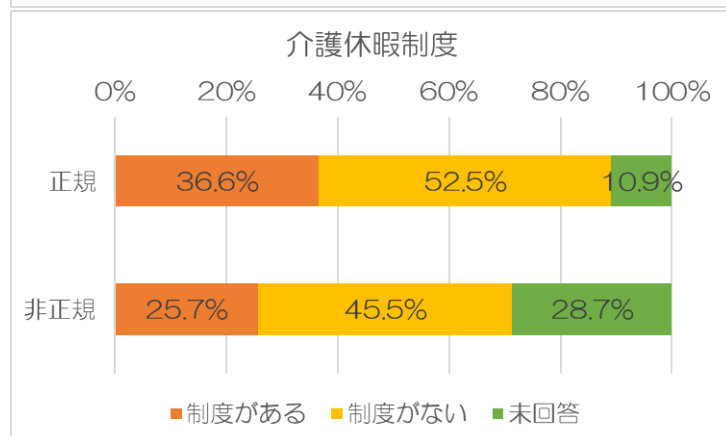
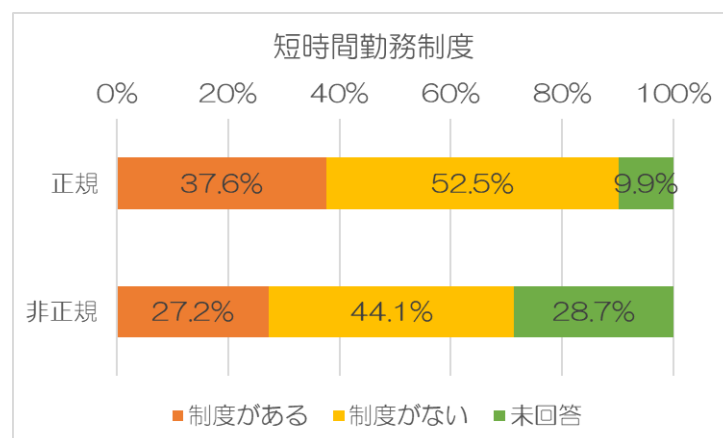
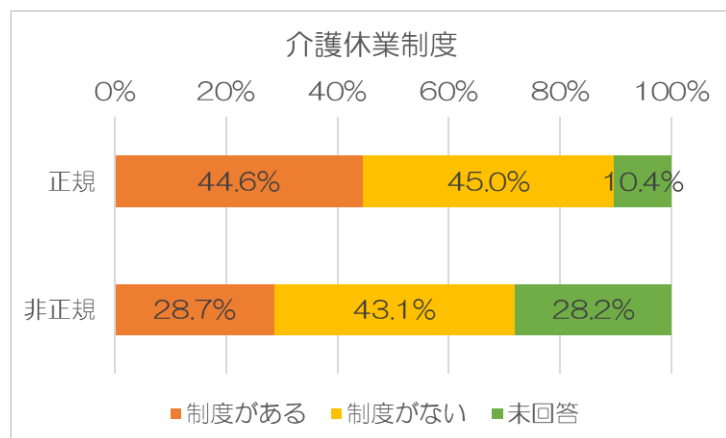
➤ いずれの制度も「制度がある」と回答した割合は非正規の方が低い。

2 岩見沢市の現状について

1 4. 介護に関する支援制度【事業所 問10(2)】

※「制度がある」と回答した割合の高い制度上位4つについて示した。

※「導入予定」「検討中」「導入の予定はない」を合わせて「制度がない」として示した。



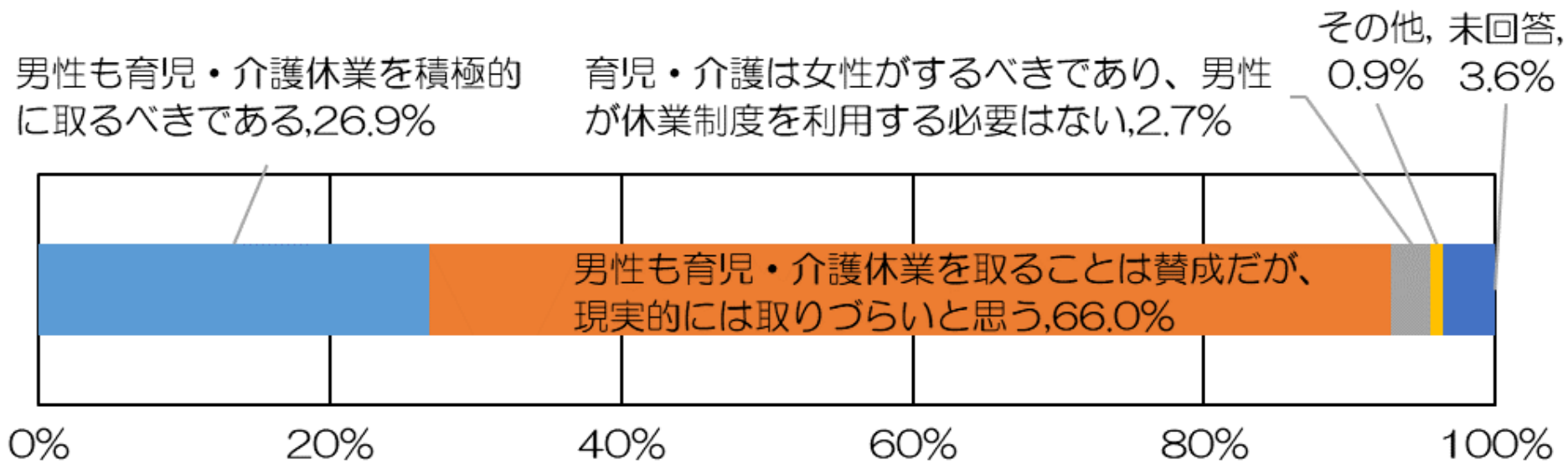
資料：岩見沢市男女共同参画に関するアンケート調査

➤ いずれの制度も「制度がある」と回答した割合は非正規の方が低い。

2 岩見沢市の現状について

1 5. 男性が育児・介護休業制度を利用することについて、どう思いますか。

【市民問13】

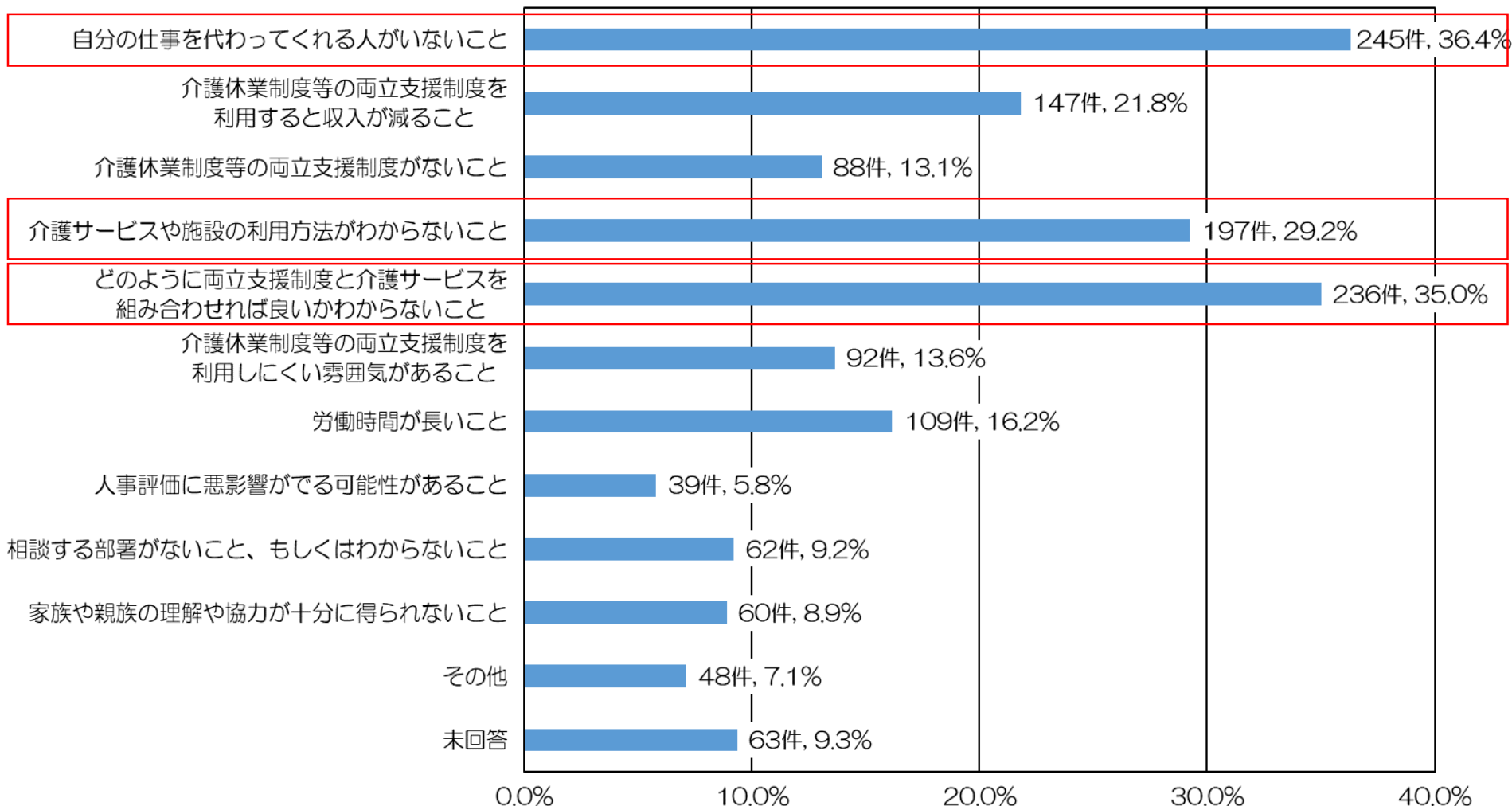


資料：岩見沢市男女共同参画に関するアンケート調査

- 男性が育児・介護休業を取得することについて賛成と答えた人は92.9%であるが、現実的には取りづらいと思っている答えた人が66%いた。

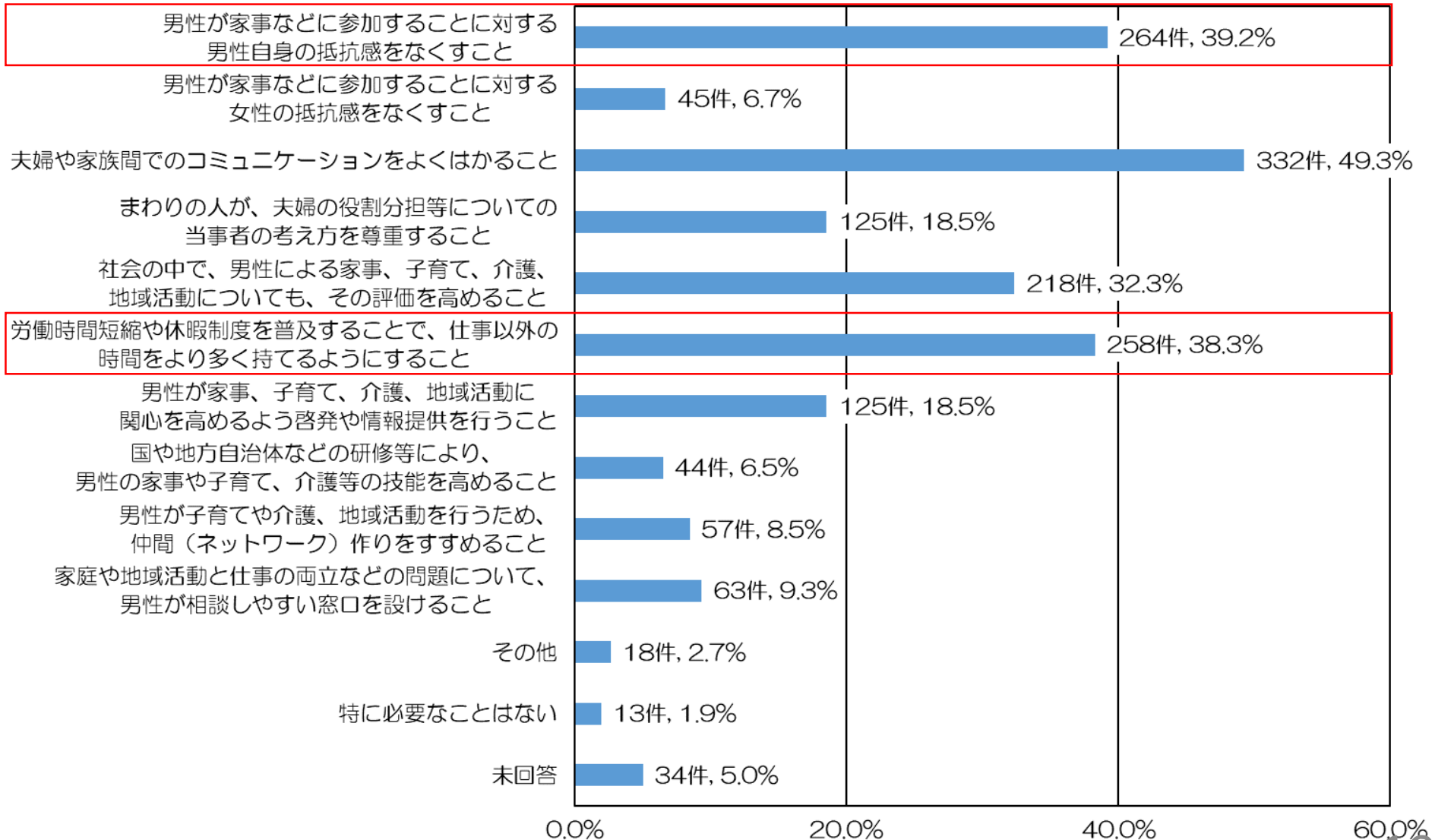
2 岩見沢市の現状について

16. あなたの家族が介護を必要とするようになり、仕事と介護を両立することになったら、どのようなことに不安を感じると思いますか。【市民問17】



2 岩見沢市の現状について

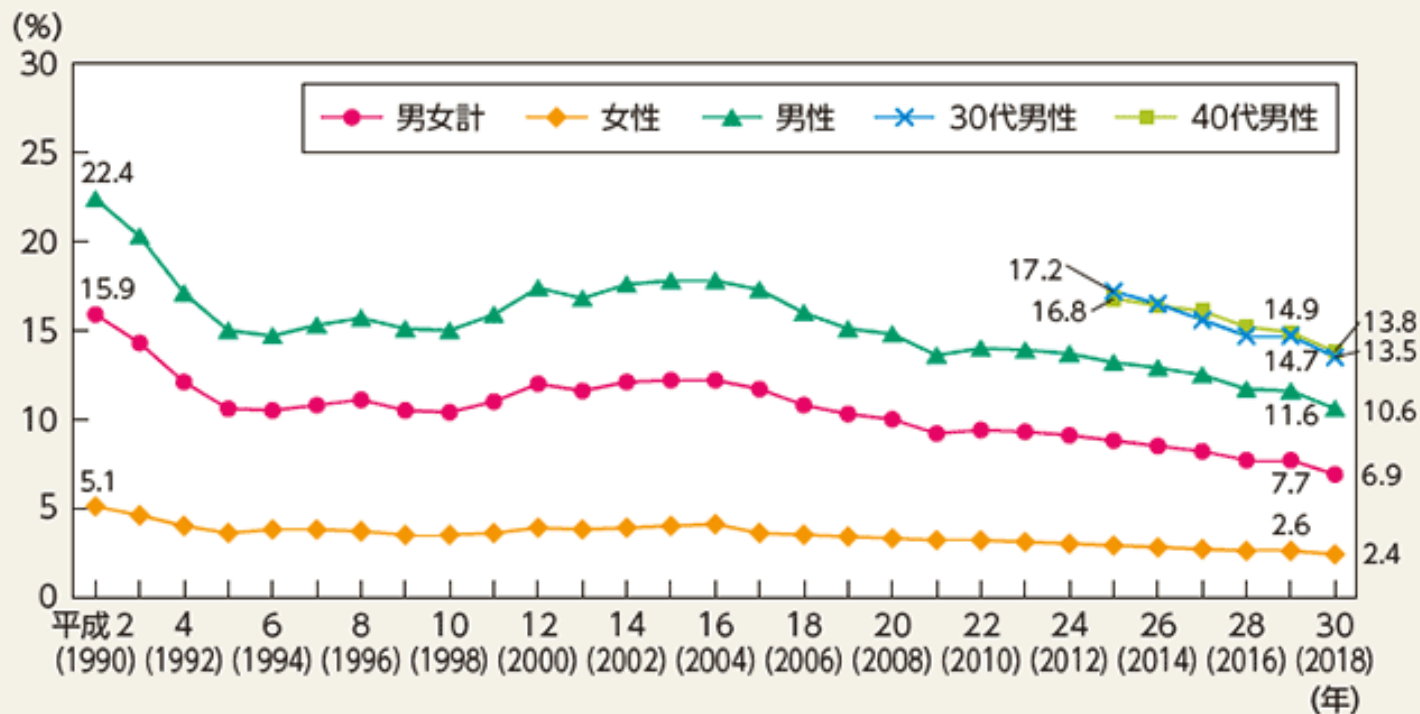
17. 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)【市民問18】



2 岩見沢市の現状について

1 8. 週間就業時間60時間以上の雇用者の割合の推移

I-3-1 図 週間就業時間60時間以上の雇用者の割合の推移（男女計、男女別）



- (備考) 1. 総務省「労働力調査 (基本集計)」より作成。
2. 非農林業雇用者数 (休業者を除く) に占める割合。
3. 平成23年値は、岩手県、宮城県及び福島県を除く全国の結果。

資料：令和元年度男女共同参画白書

➤子育て期にある30代及び40代の男性において、女性や他の年代の男性と比べて高い水準となっている。

3 国（内閣府男女共同参画局）の男女共同参画の主な政策

◆女性活躍の推進

「女性活躍加速のための重点方針」～①安全安心な暮らしの実現、②あらゆる分野における女性の活躍、③女性活躍のための基盤整備

「女性応援ポータルサイト」

<http://www.gender.go.jp/policy/sokushin/ouen/index.html>

◆女性の活躍状況の見える化

「女性の活躍推進企業データベース」 <https://positive-ryouritsu.mhlw.go.jp/positivedb/>

◆ポジティブアクション

「社会のあらゆる分野において2020年までに指導的地位(※)に女性が占める割合が、少なくとも30%程度になるよう期待する」（H15.6.20男女共同参画推進本部決定）

※指導的地位～①議会議員、②法人・団体等における課長相当職以上の者、③専門的・技術的な職業のうち特に専門性が高い職業に従事する者

◆仕事と生活の調和（ワークライフバランス）

「『仕事と生活の調和』推進サイト」 <http://wwwa.cao.go.jp/wlb/>

「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）レポート2018」～女性の継続就業、非正規雇用、長時間労働、仕事と子育て・介護の両立支援、男性の働き方・意識改革、社会基盤の整備

4 岩見沢市の主な取り組み

◆意識啓発、情報提供（市民、事業所向け）

情報誌発行、街頭啓発、フォーラム開催、中小企業向けメーリングリストの活用



◆就業支援・起業支援

在宅就業等雇用促進業務～通勤型就業コース、PCエキスパートコース、在宅業務（テレワーク）研修コース（資格取得または研修終了後は就業をサポート）

創業支援事業～ワンストップ相談窓口、創業塾の開催

◆子育て・介護

岩見沢市子ども・子育てプラン

岩見沢市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

5 まとめ

女性の就業率は上がった

しかし、女性が働きにくい社会だと感じている人が多い

非正規雇用が多い 役職者が少ない 勤続年数が短い
給与が低い

多くの分野では男性優遇
性別役割分担意識が残っている

仕事と家庭の両立が大変だと感じている人が多い

男性が育児・介護休業制度を利用することは賛成だけど、
現実的には取りづらいと思っている人が多い

子育て期にある男性の長時間労働

課題は

ワーク・ライフ・バランスの実現

そして ポジティブ・アクションの推進